



令和4年3月30日

各位

会社名 株式会社 R I S E
代表者名 代表取締役社長 芝辻直基
(コード番号 8836)
問合せ先 コーポレート統括部 経営管理部
担当部長 杉山 顕士
(TEL : 03-6632-0711)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は令和4年3月期第4四半期連結累計期間において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上するとともに、令和3年5月14日に発表しました、令和4年3月期（令和3年4月1日から令和4年3月31日）の通期の業績予想（連結）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社の連結子会社であるFREアセットマネジメント株式会社は、今後の賃貸不動産市況動向を踏まえ将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が保有する固定資産（土地）の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として12百万円計上いたします。

2. 令和4年3月期の（連結）業績予想数値の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	318	△ 69	△ 71	△ 80	△ 2円 34銭
今回発表予想（B）	362	△ 8	△ 9	△ 39	△ 1円 91銭
増減額（B－A）	44	61	62	41	—
増減率（％）	13.8	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 令和3年3月期	360	△ 14	0	△ 52	△ 2円 05銭

3. 修正の理由

売上高につきましては、令和3年6月25日付で開示しております「連結子会社によるアセットアドバイザー契約締結に関するお知らせ」により、不動産管理受託物件が増加したことや、当初、不動産管理受託契約の解約が見込まれていた契約が引続き受託されていること等により、当初の予想を44百万円上回る見込みであります。また、利益面では、経費削減に努めた結果、販売費及び一般管理費で16百万円の減少が見込まれます。これらにより営業利益で61百万円、経常利益で62百万円それぞれ当初の予想を上回る見込みであります。また、上記「1. 特別損失（減損損失）の計上」に記載した通り、特別損失（減損損失）12百万円を計上いたします。これらにより親会社株主に帰属する当期純利益は、41百万円当初の予想を上回る見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以上